

教育研究者総覧

氏 名	濱井 潤也 (HAMAI Junya)
所 属	一般教養科
職 名	講師
学 位	博士(文学)
専門分野	西洋哲学
クラブ顧問	天文愛好会、哲学愛好会、ESS、サッカー部
E-mail	hamai@gen.niihama-nct.ac.jp

学 歴	2010.3 広島大学大学院文学研究科博士課程後期修了
職 歴	2011.4 広島大学大学院文学研究科(特任助教) 2012.2 広島大学大学院文学研究科(研究員) 2014.4 広島大学教育・国際室(教育・研究推進員) 2015.4 新居浜高専一般教養科(講師)

校務分掌・担任歴	2016.4 教務委員 2017.4 1年2組担任 2018.4 2年2組担任
講義科目	本科:倫理, 応用倫理学, 技術者倫理 専攻科:人間と倫理

所属学会	日本哲学会, 広島哲学会, 日本ヘーゲル学会, 京都ヘーゲル読書会
現在の研究テーマ	ドイツ観念論に基づく現代政治哲学におけるコミュニタリアニズム解釈及びその実践的応用に関する研究
相談可能なテーマ	
研究業績	1)「高等専門学校の社会科カリキュラム編成類型と主権者教育の課題」、『新居浜工業高等専門学校紀要』、新居浜工業高等専門学校、第54巻、P.15-24、2018年1月発行 2)「「実際の犯罪率は低い」は慰めになるか？—沖縄基地問題における米軍関係者の犯罪と県民感情についての哲学的考察—」、『新居浜工業高等専門学校紀要』、新居浜工業高等専門学校、第53巻、P.53-60、2017年1月発行 3)「コミュニタリアニズムにおけるコミュニティの射程—2人のコミュニタリアンと2つのコミュニティ—」『哲学』、広島哲学研究会、第65集、P.55-68、2013年10月25日発行 4)「チャールズ・テイラーとケベック問題—マイノリティとの「和解」への道—」『ぷらくしす』、広島大学応用倫理学プロジェクト研究センター、第14号、P.113-124、2013年3月1日発行 5)「マイケル・ウォルツァーの特定主義(Particularism) —普遍的正義と特殊的文化との和解?—」『ぷらくしす』、広島大学応用倫理学プロジェクト研究センター、第13号、P.9-21、2012年3月1日発行

研究プロジェクト,
外部資金等

- 1)「「和解」概念の展開－平和への応用倫理的アプローチ」, 基盤研究B, 研究代表者:越智貢, 2012-2015年度, 分担研究者
- 2)「「和解」概念の再構築－平和への応用倫理的アプローチ」, 基盤研究B, 研究代表者:越智貢, 2009-2011年度, 分担研究者
- 3)「高等専門学校における市民性育成のためのカリキュラム開発研究」, 挑戦的萌芽研究, 2016-2018年度, 研究代表者
- 4)「「平和」理論の構築－「和解」概念に着目した応用倫理的アプローチ」, 基盤研究B, 研究代表者:越智貢, 2016-2018年度, 分担研究者

社会貢献, 地域貢献

学外審議会, 委員等

国際交流